

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

あとらすちくま

令和6年 3月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対して適切なスペースを保っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			加配職員も適切な配置になっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関に段差があるが、できる限り段差が少なくなる様に配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員全体で参加している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的にアンケートの実施を行なっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価はしていない。検討中。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修の参加と所内での伝達研修を行なっている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者と児童との定期的な面談を行ないアセスメントしている。それをもって、個別支援計画の作成をしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			視覚支援を用いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員全員で話し合い決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			年間行事等を取り入れ、天候等を考慮し活動プログラムを決めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みの課題や活動・行事等を設定して子ども達に楽しんでもらっている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画には、個別課題と集団活動を組み合わせで作っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の事前準備と打ち合わせを実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後に職員間で情報共有を図る様になっている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を徹底している。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に保護者との面談をし、個別支援計画の見直しの機会をもっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加する様にしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校の先生と引継ぎ時等、連絡を密に取り合い、下校時刻や年間計画、児童の状況等の共有をしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	受け入れていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			移行会議等には参加し情報共有をする様にしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業後の進路先に情報を申し送る様にしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			基幹センターと連携して助言などを受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流活動していないが、今後について検討中。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人内で参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者との定期的な面談を行ない、状況や課題を共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングはしていない。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始前に契約書で確認し同意を得る様にしている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			引継ぎ時や定期的な面談の中で相談に応じている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者の会開催は行なっていない。

	③③	子どもや保護者からの 苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	○			苦情に対しては迅速・丁寧に対応出来る体制を作っている。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページにて保護者へ発信している。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			秘密保持を徹底している。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			十分に配慮をしている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	出来ていない。	
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、職員に周知している。
		③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を年2回行なっている。
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年研修を受け、伝達研修をしている。	
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			法人内で身体拘束しない事を全体で確認し、契約書にも記載しており、職員間でも周知し徹底している。	
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者にアレルギーを確認し、対応している。	
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				